

2013年10月8日

各 位

株式会社栗本鐵工所

「モンゴル国におけるセミコークスブリケット製造プロジェクトの
案件形成合理化調査」の開始
～モンゴル都市部での環境問題解決支援～

当社は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）殿より、「モンゴル国におけるセミコークスブリケット製造プロジェクトの案件形成合理化調査^{*1}」について調査業務を受託し、当該調査を開始しました。

モンゴルでは、首都ウランバートルをはじめ都市部において暖房用の安価な低品位炭の直接燃焼に起因する大気汚染と、それに伴う呼吸器疾患など健康被害の拡大が深刻な問題となっています。モンゴル政府は、世界各国との協力の下、かかる大気汚染の発生を抑制させるため、様々な解決策を模索しており、日本のクリーンコールテクノロジーを活用した環境対策事業に注目しています。

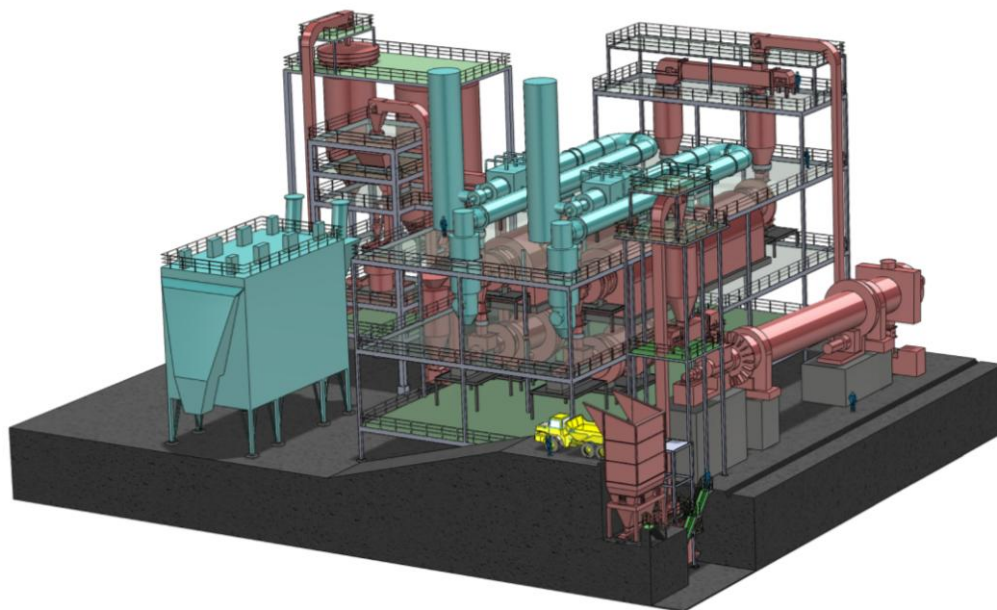
今回受託した業務は、NEDO 殿が推進する「国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業／基礎事業／石炭高効率利用システム案件形成調査事業^{*2}」において、モンゴルに豊富に存在する低品位炭を有効利用し、且つモンゴルにおける大気汚染を削減するべく、日本の優れた乾留等の技術により石炭を直接燃焼した場合に比べて燃焼に伴う有害物質の排出を大幅に削減することが見込める、セミコークスブリケットの製造事業の Feasibility Study を実施するものです。また本事業では、CO2 排出量削減も目的としております。モンゴル国は 2013 年 1 月にモンゴル二国間オフセットクレジット制度が合意されており、今後の利用が期待されます。

弊社はセミコークスブリケット製造プラントにおいて、各工程で使用する生産機器の製造メーカーであり、その中でも、生産プロセスの核となる「乾留工程」に自社技術を導入してプラント全体の設計・施工を実施することで、セミコークスブリケットの品質向上が図れるものと確信しております。

モンゴルは重要な資源国であるので、日本の環境技術を用いた協力によりモンゴルにおける環境改善とエネルギー効率の向上に貢献していきたいと考えます。

【参考資料】

○栗本鐵工所製、セミコークスブリケット生産システム



* 1 : 2013 年 10 月 4 日、NEDO 殿は、「国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業／基礎事業／石炭高効率利用システム案件等形成調査事業（二次）」において、株式会社栗本鐵工所が提案した「モンゴル国におけるセミコークスブリケット製造プロジェクトの案件形成合理化調査」の採択を決定しました。

* 2 : 本事業は、日本が有する高効率発電技術（USC, IGCC 等）や石炭ガス化技術、CCS 技術、運転管理技術など、世界的に優れた石炭の高効率利用に関する設備・技術を対象として、アジア新興国を始めとした国際市場に普及・促進させることで、相手国のエネルギー効率の向上、エネルギー源の多角化を支援し、エネルギー需給の安定、地球環境問題の解決に資することを目的とするものです。

【本件に関する問い合わせ】

株式会社栗本鐵工所 総合企画室 管理グループ 06-6538-7732